



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2002. 2月号

博物館まつり

期間 2月1日(金)～10日(日)

場所 平塚市博物館

時間 9:00～17:00

月曜休館

発表会 2月9日(土)

時間 13:00～

● 漂着物を拾う会

民俗探訪会

古代遺跡を探す会

裏打ちの会

石仏を調べる会

神奈川キノコの会

天体観察会

平塚地質調査会

相模川の生い立ちを探る会

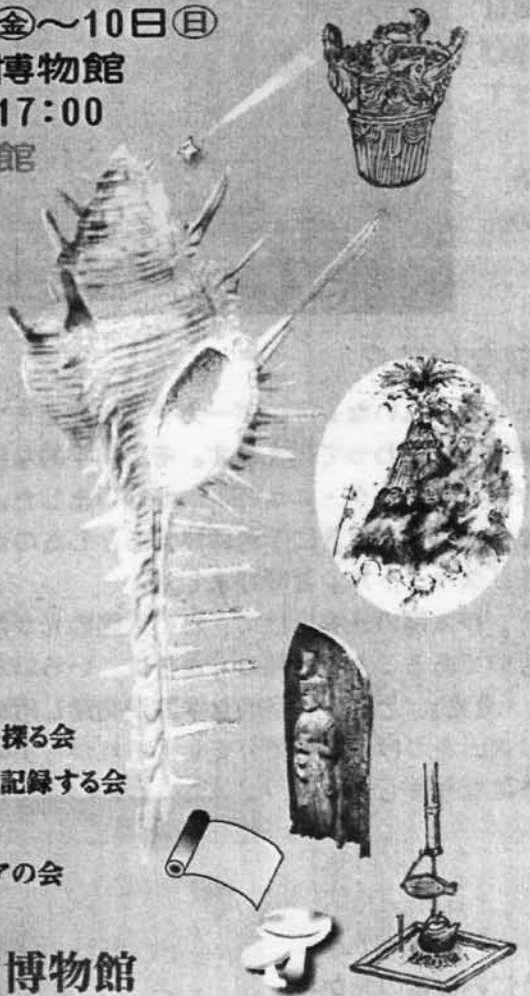
平塚の空襲と戦災を記録する会

ろばたばなしの会

展示解説ボランティアの会



平塚市博物館



今年も、博物館で活動するさまざまなサークルが一堂に会して展示や発表を行います。日ごろの活動の成果をごらんください。

第3回

博物館まつり

平成一四年二月一日(金)～二月二〇日(日)
会場 平塚市博物館 特別展示室・入場無料
時間 九時～一七時

★ 関連行事 ★★

● 実演

- ・縄文土器焼き実演(古代遺跡を探す会)
2月3日(日)10時～15時 見学自由
- ・裏打ち作業実演(裏打ちの会)
古文書等を和紙で補強する作業です
2月9日(土)10時～15時 見学自由

● 博物館まつり発表会

2月9日(土)13時～16時30分

博物館講堂(入場無料)

漂着物を拾う会 『虹ヶ浜海岸の貝』

古代遺跡を探す会 『平塚市片岡・上宗高遺跡発見の経緯』

平塚の空襲と戦災を記録する会 『記録は語る<2>』

石仏を調べる会 『金目の石仏』

民俗探訪会 『まつりと神輿』

神奈川キノコの会 『毒キノコ』

平塚地質調査会・相模川の生い立ちを探る会

『丹沢周辺の鉱物』

天体観察会 『しし座流星群を観察して』

・展示解説ツアー(展示解説ボランティアの会)

解説付きなら、いつもの展示にも新発見が..

2月9日(土)、2月10日(日)11:00～12:00

・ろばたばなし(ろばたばなしの会)

1階展示室古民家のいろいろ端で民話の語りを。

平塚に伝わる徳川家康の話の特集します

2月10日(日)13:30・15:00 参加自由

・プラネタリウム投影実演(君もプラネタリアン)

高校生が投影機を操作しながら星空を解説します。

2月3日(日)15:30～16:15 観覧無料。途中入場不可

プラネタリウム投影の話題

星の虹ースペクトル

2月9日～4月7日

虹がかかると・・・

雨上がりの夕方、博物館の東の空に虹がかかりました。アーチのようにかかる虹は、なにか希望を感じさせてくれるものです。でも、虹はいくら追ってもたどり着くことはできず、逃げてしまいます。虹のかなたに行きつくことはできずじまいです。

虹は太陽の光を空気中に浮かぶ水滴が反射・屈折させて起こす現象です。その光は太陽の光をわけたもの、とも言えます。

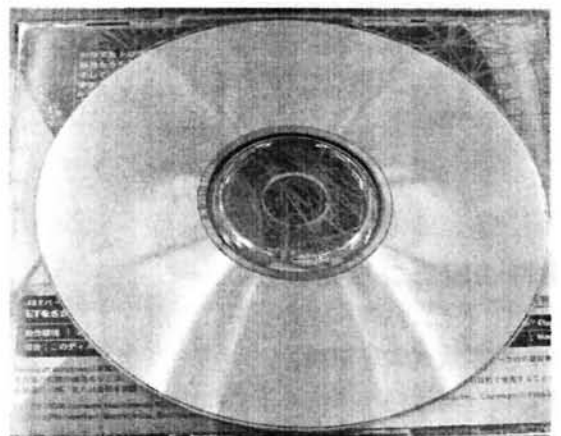


アイザック・ニュートン

虹ってなないろ？

虹をみると、きれいなレインボーカラーに見えます。その色合いは赤から紫まで連続して変わって見えます。その科学的な探求は、万有引力の法則で有名な、アイザック・ニュートンが行いました。彼が太陽の光をプリズムではじめて分けたときに7色に見えるとしたのが始まり、だとか。そしてそれを「スペクトル」と呼びました。

ニュートンが太陽の光を分けて、白い太陽の光がたくさん色の光の合わさったものであることを発見してからは、いろいろな光を分けてその性質を探る、「分光」、という科学的な学問が発達し始めました。星の光も望遠鏡にプリズムをつけることで分光し、それから星の性質をはかることができるようになりました。



CDを光にかざすと照明の虹が見える

星のスペクトルからわかること

星のスペクトルを見ると、太陽と同じようにみな紫の光から赤い光まで連続して出ています。これを連続スペクトルと言います。光と強さは星の重さ、大きさによって異なり、また、吸収線とよぶ黒いすじから、星の性質がわかってきます。

いまでは、スペクトルから星が誕生して最後を迎えるまでの進化の過程を知ることまでできるのです。

身近な光のスペクトル

私たちのまわりに満ちあふれる光は、部屋の照明や街の明かり、街灯など、それぞれ光を出しています。その光がどのような仕組みで出されているか、光の干渉という原理を使うことで簡単に見分けることができます。それは音楽CDやパソコンで使うCDを使ったり、干渉フィルターというフィルム状のものを使ってスペクトルを見る、という方法です。身近な光を観察してみましょう。そして星の光と同じ原理で光るものを見つけてください。

情報がいっぱい 植物の分布図

神奈川県は、全国的にみて、その植物相がもっともよく解明されている県の一つに数えられています。特に、すべての種類について詳細な分布図が作られている県は、他にはほとんどありません。東京都などは、どういう種類が生えているかというリストさえ作られていないのです。

神奈川県の植物分布調査は、多くの先人の研究を引き継ぎ、1979年からは「神奈川県植物誌調査会」という会によって進められてきました。この会は、植物の好きな市民の集まりで、県内各地の博物館を拠点として、それぞれの地元の植物を調べています。平塚市博物館でも、藤沢から二宮、さらに伊勢原や秦野も含めた湘南エリアの調査を続けてきました。こうした活動の成果は、「神奈川県植物誌1988」「神奈川県植物誌2001」という2冊の本にまとめられており、湘南エリアについては、当館から「湘南植物誌Ⅰ～Ⅵ」が刊行されています。

これらの植物誌を開くと、それぞれの種類についての詳細な分布図を見ることができます。たとえば、高麗山に春を告げる植物の一つであるユリワサビの分布図を見てみましょう。するとこの植物は丹沢には広く分布しているものの、低地では多摩丘陵や三浦半島の一部に分布しかなく、よく分かります。それだけに、高麗山の分布が貴重だということが浮かび上がってくるのです。

次に、ウラジロチチコグサという北米から帰化した植物の分布図を見てみましょう。○は1987年以前に採集された標本のある地点、●はそれ以降の採集地点を示します。この植物がここ10年ほど間に急激に広がってきたことが一目瞭然でしょう。

このように、植物の分布図からは、さまざまな情報を読みとることができます。神奈川県で充実した植物誌が刊行されているということは、そこから学べることも数多くあるということです。春の特別展では、その一端を紹介したいと思います。



<分布図は「神奈川県植物誌2001」(神奈川県植物誌調査会,2001)による>

春期特別展

神奈川の花・湘南の花 ー植物誌の語るものー

会期：平成14年3月9日(土)～4月14日(日) 月曜日・月末休館

会場：博物館特別展示室

記念講演会：「神奈川県の植物相」 講師：勝山輝男氏(県立生命の星・地球博物館)

日時：3月10日(日)午後1時半～4時 会場：博物館講堂(申込不要)

博物館カレンダー

<平成14年2月>

1	金	☆博物館まつり(～2月10日)	特展室
		☆寄贈品コーナー「雛に込められた祈り」(～27日)	展示室
		古文書講読会	講堂
2	土	◎星を見る会「土星木星星雲星団」	屋上
		天体観察会「惑星・星雲・星団」	屋上
3	日	◎君もプラネタリアン投影実演	プラネ室
		民俗探訪会「阿夫利神社節分祭」	伊勢原市
		◎縄文土器の野焼き実演	博物館
		水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
6	水	民俗探訪分科会「民間信仰調査」	大神
		宇宙を学ぶ会	プラネ室
7	木	展示解説ボランティアの会	特研室
8	金	古文書講読会	講堂
9	土	◎博物館まつり発表会	講堂
		◎展示解説ツアー	展示室
		◎裏打ち作業実演	科学室
		◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		☆プラネタリウム「星の虹くスペクトル」(～4月7日)	プラネ室
10	日	◎展示解説ツアー	展示室
		◎ろばたばなし「平塚の徳川家康伝説」	展示室
14	木	石仏を調べる会	特研室
15	金	古文書講読会	講堂
16	土	地質調査会	科学室
		天体観察会「カノーパス」	野外
17	日	◎ろばたばなし	展示室
		古代遺跡を探す会「分布調査のまとめ」	科学室
20	水	民俗探訪分科会「民間信仰調査」	大神
		裏打ちの会	科学室
		宇宙を学ぶ会	プラネ室
21	木	展示解説ボランティアの会	特研室
22	金	古文書講読会	講堂
23	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研室
		○自然観察会「水鳥を見よう」	花水川
24	日	相模川の生き立ちを探る会「湯本平の沸石」	山北町
28	木	石仏を調べる会	特研室

<平成14年3月>

1	金	☆寄贈品コーナー「鉄道模型展」(～3月30日)	展示室
		古文書講読会	講堂
2	土	天体観察会「木星・土星」	野外
3	日	民俗探訪会	野外
		水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
6	水	民俗探訪分科会「民間信仰調査」	吉際
		宇宙を学ぶ会	プラネ室
7	木	展示解説ボランティアの会	特研室
8	金	古文書講読会	講堂
9	土	☆春期特別展「神奈川の花・湘南の花」(～4月14日)	特展室
		◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
10	日	◎特別展記念講演会「神奈川県植物相」	講堂
		地質調査会	科学室
14	木	石仏を調べる会	特研室
15	金	古文書講読会	講堂
16	土	地質調査会	野外
17	日	◎ろばたばなし	展示室
20	水	民俗探訪分科会	特研室
		裏打ちの会	科学室
		◎星を見る会「土星食を見よう」	屋上
		天体観察会「土星食」	野外
		宇宙を学ぶ会	プラネ室
22	金	古文書講読会	講堂
23	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研室
		○こども観察会「3月の自然」	野外
24	日	古代遺跡を探す会「相模原市立博物館見学」	相模原
		相模川の生き立ちを探る会「嶺岡層群」	房総
28	木	石仏を調べる会	特研室

☆：展示(無料)プラネタリウム(観覧料)

○：申込制 ◎：自由参加 無印：会員制

<展示とプラネタリウム>

☆第3回博物館まつり

博物館で活動する12のサークル団体による展示会です。

会期：2月1日(金)～2月10日(日)

会場：特別展示室

◎博物館まつり発表会

日時：2月9日(土)13時～16時30分

会場：講堂 参加：自由

◎この他、会期中の土日曜日には、実演会や展示解説ツアーがあります。日程等は表紙をご覧ください。

☆寄贈品コーナー「雛に込められた祈り」

江戸時代から昭和までの雛人形や、各地の郷土雛の展示を通し、人々が人形に託した思いを探ります。

会期：2月1日(金)～2月27日(水)

☆プラネタリウム「星の虹くスペクトル」

宇宙の謎を解くうえで重要な鍵をにぎる星の虹についてお話しします。

期間：2月9日(土)～4月7日(日)

投影日：土日曜日の11時と14時

<参加者募集>

○自然観察会「水鳥を見よう」

日時：2月23日(土)9時～12時

場所：花水川

申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、2月10日までに博物館へ申し込む

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。

日時：2月9日(土)9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由(初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎星を見る会「惑星と冬の星座」

木星・土星ときらびやかな冬の星々を望遠鏡で観察します。防寒を十分にしてお越しください。

日時：2月2日(土)19時～20時30分

場所：科学教室・屋上

参加：自由

◎ろばたばなし

2月10日(日)は平塚の徳川家康伝説特集です。

日時：2月10・17日(日)(1)13時30分～(2)15時～

場所：展示室民家 参加：自由

あなたと博物館 26巻 11号 通算303号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>